

<愛光学園同窓会>

令和2年5月 常任理事会 次第

- 開催日時：令和2年 5月22日（金） 19：00～
- 開催場所： zoom ミーティング
- 出席者：別紙 計20名
- 議事録署名人：仲本 豊 理事、菅 徹 監事
- 議事録作成者：森元 志郎 事務局長

I. 会長挨拶

新型コロナウイルス感染の影響で、3月の常任理事会は行われず久しぶりに理事の皆さんとお顔を合わせることが出来ましたが、今回も影響は残っているためリモートによる zoom ミーティングという形になりました。

皆さんそれぞれ離れてはいますが、遠く沖縄からも仲本沖縄県支部会長が参加してくれています。また、4月から、同窓会担当教員として、山一先生から交代された竹内先生も参加いただいています。

新型コロナウイルスは、皆さんのお仕事や生活に大変大きな影響を及ぼしていることと思います。ただ、なんとなく収束に向かっていることですので、早い終息、それから経済の再開を望むところです。

今回、同窓会各地区・支部の総会が5月から7月にかけて予定されていたところ、残念ながら、多くの所が、延期・中止を余儀なくされているという事であります。大変なことはありませんが、それぞれリモートやその他の方法を考えられて開催の工夫をされていると聞いております。

これにめげず同窓会も活発な活動をこれからも継続していきたいと思っておりますので、今後ともご協力の程よろしく申し上げます。

II. 協議事項

1. 理事交代

*同窓会担当教諭が、山一 巖 先生から 竹内 聡 先生に代わった。

(竹内先生より) 学校の状況について、5月18日からは、学年ごとの分散登校を始め、準備をしてきたが、緊急事態宣言もようやく解除されたことから、学校も6月1日から通常授業が出来ないかと計画している。詳細は、随時、学園ホームページをご覧ください。

*沖縄県支部、仲本 豊 会長紹介

(仲本会長から) 一昨年に沖縄県支部が発足しました。今後とも皆様と共に学校の益々の発展の為に出来る限り頑張ってお参りますので、よろしく申し上げます。

2. 各地区・支部総会について

①関東地区 6月27日 → 12月5日に延期

(西岡代表から) 関東地区では、奇数月に幹事会を行なっておりましたところ、3月以降5月も全体での幹事会は出来ていません。副代表や常任幹事の方々とメール等で連絡を取りながら調整を進めています。12月の会場は同じアルカディア市ヶ谷を予約してはいますが関東地区の場合、参加者に学生(未成年者も含む)が多く、春の感染者も多く出ていたことから第二波も心配しています。会場キャンセルの関係で2ヶ月前をめどに最終判断をしようという事になっております。新型コロナウイルス感染が収束しているという条件付きの延期です。

(森元事務局長) 開催時、学校からは、中村校長先生

同窓会からは、越智会長、山澤副会長が出席予定。

②関西支部 7月4日 → 12月5日に延期

(森元事務局長) 関東地区と日程が重なりましたが、両地区・支部了解の上です。

開催時、学校からは、ホアン理事長、竹内先生

同窓会からは、宮嶋副会長、菊池副会長が出席予定。

③京滋の会 6月20日 → 中止

本年度はメールとハガキで京滋の会総会の代わりにする

④沖縄県支部 5月23日 → 延期

(仲本会長から) 本来であれば、明日23日が総会の予定でした。昨年、一昨年とも8月末9月初旬に総会を行ってきたことから、今のところ同時期の8月末から9月初旬にかけて、皆様の日程を確認してから日にちを決め開催しようと思っています。その時には、このような情勢ですから、地元でこぢんまりと開催しようと思っています。

⑤九州地区 7月4日 → 基本的に中止

幹事会での検討の結果、とりあえず延期とし開催時期は未定。

夏ごろまでに事態が終息していなければ、今年中止の予定。

⑥中部地区 7月11日 → 中止 その後未定

7月の地区総会はいったん中止として、改めてコロナ騒ぎが終結したのちにスケジュールを確定。開催日に関しては現在未定

⑦11月22日バンコク同窓会は、今のところ行う予定です。(末光相談役)

3. 地区・支部補助金について

(森元事務局長)

前年までの規定に基づき、関東地区、関西支部、九州地区、京滋の会、中部地区、沖縄県支部補助金を算定し、5月31日現在の算定額による支給を決定した。

最終補助額が最低保証額より低い場合には、最低保証額を支給するものとする。

支給時期は、6月中とする。

4. 広報委員会からの報告 (小倉副会長)

* 「インテルノス」夏号について

本来であれば、7月の初めに発行する予定です。今年の学園の担当教諭は杉浦先生です。今回のコロナの影響はありますが、今のところ、夏号は発行する方向で動いているという事です。という事で同窓会からの執筆者は、村上 聡 理事紹介の中西 勝也 氏 (22期 三菱商事 常務執行役員) に決定し、冬号に延期なる可能性も含めて、了解していただき、執筆を依頼しています。以後は、学校、杉浦先生とのやり取りとなります。

→ (5月29日現在) 夏号発行は9月に延期

* 「同窓会だより」について

毎年のペースでいきますと6月中旬から動き出します。最初の作業としては、各期、各地区・支部、その他の団体の方々や寄稿をされる方に原稿を依頼することから始まります。

ただ今年のコロナ禍の状況の下、「同窓会だより」を発行するか否か、発行の仕方も含めて、6月初旬にzoomミーティングで広報委員会を開催し、その時点での状況を見極め、いろいろと決める予定です。

「同窓会だより」は、年に一度の同窓会からの情報発信の重要な媒体でありますから、どのような形であれ基本的には、発行する方向で進めていきたいと思っています。

(越智会長)

もう少し先ではありますが、世の中、第二波、第三波が来る可能性も十分考慮しなくてはならないようです。その時の状況で適時判断されることでしょうか、原則としては「同窓会だより」発行、同窓会総会は実施する前提で進めていって欲しいと思います。

(渡部剛土理事)

ちょうど今校舎を建設している最中で工事も進んでいるようです。

また、コロナ禍の真っ只中という事で医療分野だけでなく様々な分野でコロナと戦っている同窓生もいらっしゃいます。よりそういった方々から投稿を求めることで、この時期にふさわしいものになるのではないのでしょうか。

5. 事業委員会からの報告 (山澤副会長)

* 70周年記念事業 新校舎寄付について

本来であれば3月末までに同窓会としての目標を1億円としていました。

年末までは好調な状況でしたが、年が明けてからは、新型コロナウイルスの影響もあって、いろいろ集まることも皆さんに直接寄付をお願いすることも難しくなり、寄付活動も停滞しています。寄付活動の現状としまして、同窓生からの寄付は、82,600,000円ぐらい、学校全体としては、125,400,000円ぐらいという事で、若干遅れているように思われます。予定では3月末までに目標を達成し、4月からの新年度から2年で目標達成のために機運を高めていく方針でありました。コロナ

の問題で先月からの伸びも鈍化しているようです。同窓生のあらゆる職業の方々に、大きな影響が出ているとは思われますが、新校舎建設も進んでいることから、同窓会として、情報発信はしていかななくてはならないと思っております。

また、各期理事等からの問い合わせには、出来る範囲で対応しています。

あと、「同窓会だより」で新校舎の工事進捗状況などの報告と共に改めて寄付のお願いをする必要があるのかとも思います。

(玉置理事)

コロナの問題は気にしないでお願いしていけばよいと思います。何十年かに一回の大事な母校への寄付ですから、各期、各々それぞれやれる範囲でしかできないであろうから、粛々とお願いしていくしかないと思います。

(大西理事)

最近お会いした同窓生の方々との印象では、寄付の意識は持たれている方は多いように見受けられました。文書やネット、メールより、やはり実際にお会いしてお願い、後押しをすることで寄付を増やしていけるのではないかという実感を感じました。同期では、目標を定めて、それに近づいていると思われていますが、夏に向けて、現状を確かめた上、進めていきたいです。

*同窓会総会

(山澤副会長)

各地区・支部総会が、延期・中止になっている中、本部の同窓会総会をどうするのかという大きな問題があります。三密を避けるようにという中で、例年通りの人数による総会、懇親会が難しい現状もあるかと思われています。今回に限って総会においてはウェブ上に資料を出して、ご意見を求めて賛否を取るという方法も考えられます。ただ、色々な課題もあり、年に一度の同窓生の集まりであることから、思案をしております。総会開催日の日程が、10月24日に決まっていますから、2か月前あたりの8月半ばまでには、状況を見極めながら結論を出したいと考えています。

(末光相談役)

医療関係者の立場からの意見として、この新型コロナウイルス感染の状況、予測として第二波は今の状態の延長で来ると思われ対応できるでしょうが、第三波が今年の後半、秋口以降に、インフルエンザや普通の風邪と一緒に来ると相当な混乱が起きると思えるので、かなり厳しい状況と考えられます。

(村上理事、佐川理事)

愛媛県の現状としては、封じ込めは出来ているようだが、クラスターが発生することも恐れている。

⇒ 同窓会総会については、今の状態で静観しながら、もう少し時間が経ってみないと、結論は出せないと思います。

(越智会長)

皆さんおっしゃられたように、第二波、第三波を心配しなくてはいけませんが、

もう少し先になってみないと誰も読めない現状ですから、8月中旬状況で判断するしかないと思います。

* 新入生へのお祝い品

(田中委員長)

新入生へ配布予定だったシャープペンシル(新中1)ですが、学校がこのような状態ですので、学校が始まってから配布する予定です。今の予定では6月1日から学校が始まる予定ですが、また変わる可能性はあります。ちなみに、父母会からの新入生へのお祝いも学校が始まってからの配布予定です。

(竹内先生)

新高1 E組への世界地図については分散登校がありましたから、来てくれた生徒には渡して、来れなかった生徒には、郵送しました。

6. その他

* 学園からの報告 (竹内先生)

1月に行われました愛光中学・高等学校の入学試験において、今年もかなり多くの受験生が集まり、中1生 237名、高1E組 47名という過去にないほど沢山の新入生を迎えることとなりました。これにより中学校 649名、高等学校 728名、全校合わせて1377名という生徒数です。

また、今年の卒業生 62期生 238名でした。昨年度、少し東大合格者が少なかったということもありましたが、その浪人生も頑張り、大学合格実績としまして、

東京大学： 現役 10名(受験者数 26名) 浪人 10名 合計 20名(昨年度 13名)

国公立医学部： 現役 35名 浪人 28名 合計 63名(昨年度 54名)

という結果を残してくれました。ここ数年の中では非常に良い成績だったといえ、安心もしましたが、これを続けていかなければと思っています。それぞれ受験者数が多くないため、大きく数字を伸ばすことは難しい所はあるが、目標に向け努力していきたいです。

* 62期冊子名簿について

62期生へ冊子名簿作成に伴い調査票ハガキを発送します。

ハガキ代 ¥15,183- (@63×241名分)

62期生へ調査票は6月1日発送予定です。

* 同窓会名簿について

(井出理事)

同窓会名簿は、前回で最後という事になっていましたが、その後、次も作ろうという話も出てるやに聞いております。また、作るかどうかは別にして、同窓生消息調査を5年に一度行う時期が、来年という事で、今年から準備を始める必要があります。最終の結論はどうなっているのでしょうか。

→ (越智会長)

ここ何年か、名簿がいるのではないかというご意見は複数頂いております。ただ、

これまで名簿は止めようという流れの中で、名簿を再開するという大きな動きにはなっていないように思われます。

言われるように、もし新たに名簿を発行するのであれば、準備を進めなければなりませんので、近々、正副会長会、常任理事会で、議論をしていきたいと思えます。

(渡部剛士理事)

24期は来年、卒業40年という事で、学校に集まる計画があります。夏ごろであれば、新校舎が出来ていて、思い出の旧校舎の解体前に、両方の校舎を見ることが出来るのではと考えています。コロナの影響で、工期の遅延等はないでしょうか。

工事の進捗状況については、気にしている他の期もあると思えます。

→ (竹内先生)

工期についての情報は入ってきていないので、遅れていないと思えますが、また、事務の方にも確認しておきます。

(越智会長挨拶)

皆様、大変慎重なご議論ありがとうございました。

先ほど、竹内先生より新入生のうれしい状況を報告いただきましたが、今度校舎が新しくなるというのは、全てではないにしても、受験生が学校を選択する上で、学習環境を選ぶという意味では、非常にプラスになっていくと思っております。

そういった意味でもこれから声掛け運動を積極的に行って、さらなる寄付の増額を皆さんで目指していただければと思っております。 よろしく申し上げます。

以上、常任理事会議事録について 議事録署名人が確認致しました。

議事録署名人 仲本 豊 [確認日：2020年 5月 25日]

議事録署名人 菅 徹 [確認日：2020年 5月 25日]